

2022年度（令和4年度） 自己評価結果公表シート

自令和4年4月1日～至令和5年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施する事によって、教職員自らが客観的に自園を見つめる目を養い、施設や教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の実践にあたり教員個々の共通理解を図る。	日頃より全教職員で積極的に意見交換をし、個々の理解と実践が相違しないようにする。建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）も常に意識し保育にあたる。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	急激な少子化、保護者ニーズの多様化、ICTの普及など幼稚園を取り巻く社会状況が変化しつつある最中、保護者と共に子どもの育ちを喜びあえる保育を目指し教職員間で協議する。
危機管理マニュアルの修正	文部科学省策定の「学校危機管理マニュアル作成の手引」に基づき危機管理マニュアルを修正し、同時に学校安全計画の見直しも図る。
新型コロナウイルス感染対策	新型コロナウイルス感染症に対する対策がある程度浸透してきた中で、保護者に園に足を運んでいただく機会をより多く設け子どもの育ちがよく伝わるようにする。
教職員の労務管理をする	時間外労働時間が月平均1時間以内と健康的な労働環境が築けているので引続きその取り組みを推進していく。
保護者とのコミュニケーションを図る	保育の様子を見ていただく機会を出来るだけ設ける。また保護者一人ひとりから園児の様子を聞き保育に活かしていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスの影響が徐々に弱まったものの、1年を通じてのべ6クラスが学級閉鎖になるなど部分的に影響はあった。行事も一部日程変更が生じたがほぼ計画通りに1年が経過し、取り組むべき課題について教職員一人ひとりが自己評価を繰り返し日々共有することができた。また、経験年数の多少に関わらず相互に助け合いながら業務に当たることができたのは、子どもの育ちに大きく関わることにもつながるので大変良かったと評価する。保護者との関係については、昨年度に続き動画配信や行事への参加など出来るだけ保育内容の発信を図り幼稚園との関係性を維持してきた。本園の建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）を忘れずに、園児・保育者・保護者が互いに成長していく為の努力を継続して重ねていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを引続き重ねていくこと。その為に、子どもの主体性を育む環境構成について相互に意見を出し合い、日々の実践で心掛ける。
危機・安全管理体制	大災害を想定した様々な準備（引渡し訓練、災害備蓄品、マニュアル）の定期的な確認と見直しをする。また、ハザードとリスク行動の存在を常に意識し、危機管理サイクル（目的・目標・手段・検証）を丁寧に点検していく。
園環境の改善	敷地・園舎内の危険箇所を見つけ必要であれば改善する。築年数が経過したことによる経年劣化が疑われる設備については順次入れ替えていく。
新型コロナウイルス対策	常時換気、園児・教職員の体調管理に気を配り、できるだけ早期に対策できるよう注意を払う。
コロナ禍における保護者とのコミュニケーション	出来るだけ幼稚園の情報を発信し保護者に伝えていく *ホームページ、動画配信サービスの活用 *園日より、クラスだよりの情報発信 *個人懇談会での意見交換 *行事における参観機会を増やす *その他
支援を必要とする幼児の保育	幼児個々に応じた個別の指導計画を作成し、医療・福祉関係機関との連携を図りながら、幼児一人ひとりに沿った支援を継続していけるようにする。

6. 学校関係者の評価

新型コロナウイルスの影響がまだまだ残る1年だったが、子ども達が健康的に笑顔で毎日通園しており学校関係者として評価します。今後は5類に引き下げられより規制が緩和されるなかでの幼稚園生活を送ることになるかと思いますが、インフルエンザ等感染症対策には引き続き注意してほしいと思います。

・自己評価結果については、園業務が多岐に渡るなか教職員のチームワークで大変よく取組まれているものと評価します。

・今後の改善方策については、園児一人ひとりの事を真剣に考えていただいている事の現れだと思うので高く評価します。

・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目については、幼児を保育する立場の幼稚園の使命として適切だと評価します。

・学校運営の改善に向けた取り組みについては、幼児の命を守るための対策として適切であると評価します。

令和5年度は園行事がほぼコロナ禍以前の形に戻るとのことで楽しみにしております。子ども達一人ひとりが小学校就学に向けた豊かな育ちを送れるよう学校関係者として温かく見守って参ります。登園時には園児が大きな声で先生と挨拶することができ保護者として気持ちよく我が子を見送ることができます。また降園時には登園時同様の笑顔で親元に帰ってきてくれるので保護者として安心できます。挨拶などの生活態度が身についており我が子の大きな成長を感じます。仏さまのみ教えを通じて親も子も気持ちを穏やかにさせてもらえる保育は敬愛幼稚園だからこそ出来ると感じております。今後もどうぞ宜しくお願い致します。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。